



グリフィス記念館
春の芸術祭

Shichio Minato's exhibition "Echoes of a Dream" (Mar 22-Apr 6, Griffith Memorial Hall, Fukui) portrays the journey of Taro Kusakabe, Japan's first government-sponsored student in the U.S., through paintings and drawings. A live painting session will be held on the opening day. Free admission.



湊 七雄 絵画展

2025 3/22 (土) ▶ 4/6 (日)

夢の
つづき

グリフィスと学び、
未来を描いた若者がいた。
日下部太郎、
その夢の先へ。



福井市グリフィス記念館

開館時間: 10:00-19:00 | 入館無料
〒910-0006 福井県福井市中央3丁目5-4

主催: 福井市
共催: まちづくり福井株式会社
協力: NPO法人E&Cアートベース、佐々木額縁画材店
問合せ先: 福井市文化振興課 0776-20-5367 (平日8:30-17:15)

入場
無料

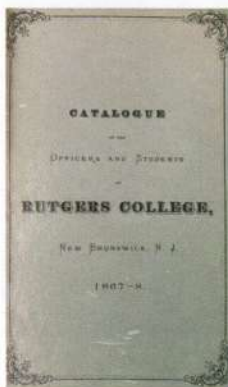
時代を超えてつながる、日下部太郎の「夢のつづき」。



日下部太郎 / 1867年



アメリカ・ラトガーズ大学



日下部の名前が載ったクラス名簿



灯の回廊（愛宕坂・横坂）

幕末の福井藩士であり、日本初の官費留学生としてアメリカに渡った日下部太郎をテーマにした絵画作品を紹介します。異国で彼が見た風景や抱いた思いを、美術作家・湊七雄が描きます。

日下部太郎は1867年、23歳で福井からアメリカ・ラトガーズ大学へ留学しました。彼は、同じ大学の先輩であり、後に日本の教育改革に貢献したウィリアム・エリオット・グリフィスと交流し、留学生生活を通じて大きな影響を受けました。

学業優秀で将来を嘱望されていましたが、卒業を目前に結核を患い、26歳で生涯を終えました。本展に向けて、湊は現地を訪れ、取材を重ねました。歴史に名を刻んだ若き留学生の足跡に触れながら、時代を超えてつながる日下部太郎の夢、その「夢のつづき」に想いを寄せています。ぜひ、湊七雄の詩的な表現世界をご堪能ください。

関連企画

公開制作「湊七雄、日下部太郎を描く」

日下部太郎に扮したモデルによる肖像画の公開制作。
あの日の日下部太郎がここグリフィス記念館に蘇ります。

3月22日(土) 1回目 10:00～12:00、2回目 14:00～16:00
グリフィス記念館 1階

トークイベント「明治の人々が見た夢」

福井県立歴史博物館の学芸員・伊藤大生氏をゲストに迎え、幕末から明治にかけての人々が見た福井の風景や、その時代に抱かれていた夢について、伊藤氏と湊氏が語り合います。ぜひ当時の息吹を感じてください。

4月6日(日) 13:00～14:30
グリフィス記念館前広場、記念館 1階(雨天時)
定員：先着 30名(雨天時のみ)

連携企画

春の音楽祭「民族楽器に触れてみよう」

民俗アンサンブル豪音による楽しい演奏が繰り広げられます。
4月5日(土) 1回目 14:00～15:00、2回目 15:30～16:30
グリフィス記念館 1階
定員：先着 20名

同時開催

灯の回廊

足羽神社へと続く笏谷石の階段が、140基の行灯に照らされ、幻想的な光景を演出します。静寂の中で特別なひとときをお過ごしください。

3月22日(土)▶4月6日(日) 18:30～21:30
愛宕坂・横坂(〒918-8007 福井県福井市足羽1丁目6-37)



湊 七雄 Shichio Minato

1972年、三重出身。福井市在住。美術作家、福井大学教育学部教授。油絵技法発祥の地・ベルギーで、絵画・版画技法や芸術理論を学ぶ。国内外での個展、グループ多数。環境負荷を低減したノントキシック技法の研究でも知られるほか、展覧会のディレクションやアートを通じた地域づくりのプロジェクトにも力を入れている。

www.shichiominato.com/

▼芸術祭特設サイト



【交通アクセス】

- 福井駅より徒歩約15分
- 車：福井ICより約15分
- 付設駐車場なし

